

手でみるプロジェクト 2021

2021
10月23日(土)

zoom配信+対面

13:30-14:00 手でみる絵画 ミレー《種をまく人》レリーフ鑑賞会

山梨県内にお住まいの見えない・見えにくい方を対象に対面鑑賞希望者を事前予約制で募ります。

鑑賞会場：山梨県立美術館講堂（〒400-0065 山梨県甲府市貢川1丁目4-27）

※オンラインでも鑑賞状況を配信、対面鑑賞希望者は配信に映る旨をご了承ください。

zoom配信

14:00-15:00 イタリア ふれて観賞できる美術館からのメッセージ

イタリアのアンテロス美術館から、共同制作のレリーフ教材鑑賞法とその制作過程についてお話しいたします。

また、この度開館するエイダス美術館からも新しい試みをご紹介します。

アンテロス美術館 *Balagna*
イタリア

ロレッタ・セッキ氏(キュレーター・館長) パオロ・グラランディ氏(彫刻家) ステファノ・マンゾッティ氏(彫刻家)
ミケーレ・ピッコロ氏(美術館ガイド) マッテオ・ステファニ氏(触察ガイド)
ルカ・トッレンテ氏(撮影・編集) エンリコ・スキル氏(彫刻家)

エイダス美術館 *Cava dei Tirreni*
イタリア

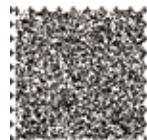
アレッサンドラ・デ・ロベルティス氏(シナプス財団理事・美術館コーディネータ)

通訳：森泉文美氏



鑑賞会・zoom配信申込先フォーム 先着200名

右上のQRコードを読み取り、専用フォームからお申し込みください。
10月1日～20日まで受付、zoomURLをお送りします。
期間外の受付・返信不可です。ご注意ください。





豊かな感性を育む美術にはたくさんの鑑賞の糸口があります。

本企画は2015年度から、触覚による鑑賞と彫刻的な視点を軸としてリサーチ・連携を続けてきた、

『手でみるプロジェクト』の公開レクチャーです。

イタリア アンテロス美術館・山梨大学(教育学部武末研究室)・山梨県立大学(人間福祉学部古屋研究室)・

山梨県立美術館の共同研究により、

手で触れて鑑賞することで、絵画をについて考えを深める取り組みです。

2018年に日本で絵画選定は始まり、アンテロス美術館の鑑賞研究者や彫刻家の尽力で日伊の絵画・レリーフへの相互理解を深め、両国の視覚に障がいのある方の協力検証を重ねることで、この度《種をまく人》の教材レリーフを作成し、日本で公開するに至りました。

1枚の絵画の鑑賞法の可能性について、一緒に考えてみましょう。

関連企画1

「ふれてみる 展覧会」

2021年10月22日(金)~24日(日) 10:00~17:00 (初日13:00~、最終日16:00まで)

山梨県立図書館交流ルーム101・102

日本と台湾の若手作家の彫刻や触れて楽しむ絵本などを展示します。
感染状況により、手袋をして触れる鑑賞を行います。

(レクチャーやワークショップ等の詳細は下のQRコードからプロジェクトHPをご覧ください。)

関連企画2

「用手去看見世界」

2022年1月9日(日)~11日(火) 10:00~17:00

台湾 板橋435藝文特區

台湾と日本の若手作家の彫刻を展示します。感染状況を鑑みて触れる鑑賞を行います。

開催形態

共催：山梨大学、山梨県立大学、イタリア アンテロス美術館・山梨県立美術館(本企画)、山梨県立図書館(関連企画1)、

台湾板橋435藝文特區(関連企画2)、手でみるプロジェクト2021実行委員会

協力：イタリア エイドス美術館、社会福祉法人山梨ライトハウス、手と目でみる教材ライブラリー(アンテロス美術館分館)、山梨県立盲学校(関連企画1)

● 内容に関するお問い合わせ：htakesue@yamanashi.ac.jp 事務局 山梨大学教育学部 武末裕子

日本内共同研究者：古屋 祥子(山梨県立大学 人間福祉学部)、大内 進(星美学園短期大学 日伊総合研究所)



科研費
KAKENHI

本研究は JSPS 科研費 JP18K00232の助成を受けたものです。

